

# 地域福祉に関する団体アンケート調査の結果

## 調査の実施概要

### (1) 調査の目的

第2期鈴鹿市地域福祉計画を、第3次鈴鹿市地域福祉活動計画（鈴鹿市社会福祉協議会が策定主体）と一体的に策定するにあたり、地域福祉に関する活動をしている団体の活動状況や課題、活動を通じて把握している地域福祉の課題などを集約し、計画に反映するために実施しました。

### (2) 調査の方法

鈴鹿市内で地域福祉に関わる活動を行っている団体として、以下の団体の全数を対象として設定しました。（以下の文中では【 】の表記を用いています。）

- ・地区民生委員児童委員協議会【地区民児協】
- ・社会福祉協議会（社協）登録ボランティア団体【ボランティア団体】
- ・サロン実施主体【サロン実施主体】
- ・福祉関係の活動を行っているNPO法人【NPO法人】

調査は、調査票を郵便で配付・回収する自記式質問紙法で実施しました。

調査票は平成27年2月23日に発送し、投函の締切を3月15日としました。なお、3月中に到着したものは有効とし、集計に加えました。

### (3) 調査票の回収状況

団体種別ごとの回収状況は下表のとおりです。

団 体 種 別	発送数	回収数	回収率
地区民生委員児童委員協議会	23通	21通	91.3%
社会福祉協議会登録ボランティア団体	107通	63通	57.0%
サロン実施主体	53通	41通	77.3%
福祉関係の活動を行っているNPO法人	50通	20通	40.0%

### (4) 調査の内容

第1期鈴鹿市地域福祉計画の実施状況の検証等により、地域福祉を推進するうえでの課題に関する仮説を設定し、つぎに事項について設問を行いました。

#### ① 団体の活動や組織運営に関する状況や課題、今後の意向について

- \*実施している活動・福祉活動と今後の意向
- \*設立されてからの期間、メンバーの人数・年齢構成、増減、活動エリア、活動場所、資金、他の団体・機関等との協働、担い手を増やす取り組み、有償活動の状況
- \*活動や組織運営で困っていること、支援してほしいこと

#### ② 活動を通じて感じている地域の状況や課題について

- \*活動しているエリアの状況、生活に困窮している人などへの相談・支援の状況
- \*地域福祉を充実するために優先的に取り組むべきこと

1. 団体の活動や組織について

問1 貴団体ではどのような活動をされていますか。また、特に力を入れている活動や、今後、新たに取り組みたい活動がありますか。(複数回答)

本調査はなんらかのかたちで地域福祉と関わりがあると考えられる団体を対象として実施しており、現在行っている活動として、「地域福祉をすすめる活動」や「子どもの健全育成を図る活動」を多くの団体があげています。また、「健康づくりや医療に関する活動」、「ひとづくりの推進を図る活動」、「まちづくりの推進を図る活動」などをはじめ、多様な活動が行われていることが示されています。

地域で課題となっている「災害時への備えや救援をすすめる活動」は、特に【地区民児協】で力を入れている活動してあげた団体の割合が大きくなっており、他のいずれの団体種別でも、今後取り組みたいこととして多くの団体があげています。

	地区民児協 (n=21)				ボランティア団体 (n=63)			
	現在行っている	力を入れている	(小計)	今後取り組みたい	現在行っている	力を入れている	(小計)	今後取り組みたい
地域の福祉をすすめる活動	28.6	71.4	100.0	0.0	44.4	15.9	60.3	4.8
健康づくりや医療に関する活動	23.8	9.5	33.3	14.3	15.9	4.8	20.7	6.3
ひとづくりの推進を図る活動	14.3	4.8	19.1	28.6	4.8	7.9	12.7	9.5
まちづくりの推進を図る活動	14.3	28.6	42.9	4.8	7.9	4.8	12.7	4.8
文化やスポーツの振興を図る活動	4.8	9.5	14.3	9.5	14.3	4.8	19.1	0.0
環境の保全や整備をすすめる活動	4.8	0.0	4.8	14.3	1.6	7.9	9.5	1.6
災害への備えや救援をすすめる活動	33.3	42.9	76.2	4.8	6.3	3.2	9.5	11.1
地域の安全を高める活動	47.6	9.5	57.1	9.5	7.9	3.2	11.1	6.3
人権の擁護や平和の推進を図る活動	4.8	0.0	4.8	23.8	3.2	3.2	6.4	1.6
国際協力のための活動	0.0	0.0	0.0	14.3	1.6	3.2	4.8	1.6
男女共同参画をすすめる活動	9.5	0.0	9.5	9.5	0.0	3.2	3.2	1.6
子どもの健全育成を図る活動	42.9	38.1	81.0	9.5	9.5	12.7	22.2	3.2
その他	4.8	0.0	4.8	0.0	12.7	4.8	17.5	3.2
無回答	14.3	19.0	-	42.9	27.0	54.0	-	71.4
全体	100.0	100.0	-	100.0	100.0	100.0	-	100.0

	サロン実施主体 (n=41)				NPO法人 (n=20)			
	現在行っている	力を入れている	(小計)	今後取り組みたい	現在行っている	力を入れている	(小計)	今後取り組みたい
地域の福祉をすすめる活動	31.7	17.1	48.8	9.8	55.0	30.0	85.0	10.0
健康づくりや医療に関する活動	22.0	14.6	36.6	2.4	20.0	25.0	45.0	20.0
ひとづくりの推進を図る活動	14.6	9.8	24.4	7.3	35.0	5.0	40.0	10.0
まちづくりの推進を図る活動	0.0	7.3	7.3	17.1	10.0	10.0	20.0	30.0
文化やスポーツの振興を図る活動	4.9	4.9	9.8	2.4	10.0	15.0	25.0	15.0
環境の保全や整備をすすめる活動	4.9	0.0	4.9	2.4	5.0	5.0	10.0	20.0
災害への備えや救援をすすめる活動	4.9	4.9	9.8	19.5	5.0	0.0	5.0	40.0
地域の安全を高める活動	4.9	0.0	4.9	17.1	0.0	5.0	5.0	40.0
人権の擁護や平和の推進を図る活動	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	5.0	10.0	15.0
国際協力のための活動	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	15.0
男女共同参画をすすめる活動	7.3	2.4	9.7	0.0	0.0	5.0	5.0	10.0
子どもの健全育成を図る活動	22.0	12.2	34.2	0.0	5.0	20.0	25.0	15.0
その他	7.3	4.9	12.2	2.4	5.0	5.0	10.0	0.0
無回答	29.3	46.3	-	58.5	30.0	45.0	-	50.0
全体	100.0	100.0	-	100.0	100.0	100.0	-	100.0

問2 貴団体では、地域の福祉や保健・医療に関するつぎのような活動を行っていますか。また、今後、新たに取り組みたいと思うものがありますか。(複数回答)

多様な活動が行われているなかで、地域の福祉、保健、医療に関する活動に絞って現在の状況と今後の意向をたずねました。【地区民児協】は「見守りや声かけ」、「災害時の支援」、「地域での交流やつながりづくり」、「家事、介護、子育てなどの支援」、「保健・医療・福祉に関する相談」など、地域福祉に関わるさまざまな活動に多くの団体が取り組んでいます。【サロン実施主体】でも「地域での交流やつながりづくり」をあげた団体が多く、活動において強く意識されていることがうかがえます。【NPO法人】は「家事、介護、子育てなどの支援」、「外出や社会参加の支援」、「保健・医療・福祉に関する相談」といった具体的な支援を多くの団体が行っていますが、「地域での交流やつながりづくり」も半数以上が取り組んでいます。一方、【ボランティア団体】では、地域の福祉に関する活動を行っている団体の割合は他の団体種別よりも小さめで、福祉の枠を超えて多様な活動を行う団体が、社協に登録されていることが示されています。

今後、新たに取り組みたい活動としては、問1と同様に「災害時の支援」が多くあげられているほか、「外出や社会参加の支援」も比較的多くの団体があげています。

	地区民児協 (n=21)		ボランティア団体 (n=63)		サロン実施主体 (n=41)		NPO法人 (n=20)	
	現在行っている	今後取り組みたい	現在行っている	今後取り組みたい	現在行っている	今後取り組みたい	現在行っている	今後取り組みたい
見守りや声かけ	100.0	0.0	15.9	6.3	36.6	14.6	30.0	5.0
地域での交流やつながりづくり	71.4	23.8	25.4	15.9	65.9	7.3	55.0	5.0
家事、介護、子育てなどの支援	61.9	4.8	19.0	4.8	17.1	12.2	50.0	15.0
外出や社会参加の支援	23.8	19.0	17.5	6.3	29.3	22.0	50.0	20.0
健康づくりの推進	19.0	23.8	17.5	6.3	24.4	19.5	25.0	10.0
保健・医療・福祉に関する相談	61.9	4.8	6.3	4.8	7.3	2.4	50.0	15.0
災害時の支援	81.0	14.3	6.3	19.0	0.0	22.0	0.0	40.0
その他	4.8	0.0	12.7	1.6	9.8	0.0	5.0	5.0
無回答	0.0	38.1	34.9	61.9	9.8	43.9	5.0	45.0
全体	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

問3 貴団体が設立されてからの期間は。

【地区民児協】は「10年以上」が9割以上で、民生委員制度の長い歴史のなかで活動が続けられていることが示されています。また、【ボランティア団体】も6割近くが「10年以上」です。一方、【サロン実施主体】や【NPO法人】は、1年～10年以上まで広く分布しています。

	地区民児協 (n=21)	ボランティア団体 (n=63)	サロン実施主体 (n=41)	NPO法人 (n=20)
1年未満	0.0	3.2	2.4	10.0
1～5年未満	0.0	9.5	24.4	25.0
5～10年未満	4.8	27.0	34.1	30.0
10年以上	90.5	58.7	36.6	30.0
無回答	4.8	1.6	2.4	5.0
全体	100.0	100.0	100.0	100.0

問4 貴団体のメンバーは何人ぐらいですか。また、年齢構成は、概ねどれぐらいの割合ですか。

メンバーの人数は、【地区民児協】は地区の人口規模に応じて設定され、「20～50人未満」が多くなっています。【ボランティア団体】と【NPO法人】は「10～20人未満」など少人数の団体が多く、特に【ボランティア団体】は「10人未満」も多くなっています。【サロン実施主体】は「20～50人未満」が最も多くなっています。

	地区民児協 (n=21)	ボランティア団体 (n=63)	サロン実施主体 (n=41)	NPO法人 (n=20)
10人未満	9.5	36.5	12.2	15.0
10～20人未満	19.0	41.3	29.3	45.0
20～50人未満	61.9	12.7	41.5	10.0
50人以上	4.8	6.3	4.9	10.0
無回答	4.8	3.2	12.2	20.0
全体	100.0	100.0	100.0	100.0

メンバーの年齢構成は、【地区民児協】、【ボランティア団体】、【サロン実施主体】では「60歳以上」の人の割合が大きい団体が多く、特に【地区民児協】はメンバーの年齢層が高いことが示されています。一方、【NPO法人】は「30歳代以下」が半数以上の団体が15%あるなど比較的多彩な年齢構成となっており、【サロン運営主体】も「30歳代以下」の割合が大きい団体があります。

	地区民児協 (n=21)			ボランティア団体 (n=63)		
	30歳代以下の割合	40～50歳代の割合	60歳代以上の割合	30歳代以下の割合	40～50歳代の割合	60歳代以上の割合
0～25%	81.0	66.7	0.0	82.5	61.9	12.7
26～50%	0.0	14.3	9.5	4.8	19.0	9.5
51～75%	0.0	0.0	4.8	1.6	6.3	11.1
76～100%	0.0	0.0	81.0	0.0	4.8	61.9
無回答	19.0	19.0	4.8	11.1	7.9	4.8
全体	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

	サロン実施主体 (n=41)			NPO法人 (n=20)		
	30歳代以下の割合	40～50歳代の割合	60歳代以上の割合	30歳代以下の割合	40～50歳代の割合	60歳代以上の割合
0～25%	70.7	68.3	12.2	40.0	30.0	55.0
26～50%	4.9	12.2	4.9	25.0	25.0	10.0
51～75%	2.4	2.4	4.9	5.0	15.0	0.0
76～100%	4.9	0.0	65.9	10.0	10.0	20.0
無回答	17.1	17.1	12.2	20.0	20.0	15.0
全体	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

問5 貴団体のメンバーは、増える傾向にありますか、減る傾向にありますか。

【地区民児協】は人口規模に応じて定数が決められているため「あまり変わらない」が多くなっています。他の団体種別でも「あまり変わらない」団体の割合が大きくなっていますが、【ボランティア団体】と【サロン実施主体】は「減る傾向にある」団体が「増える傾向にある」団体よりも多いのに対して、【NPO法人】は「増える傾向にある」団体が「減る傾向にある」団体よりも多くなっています。

	地区民児協 (n=21)	ボランティア団体 (n=63)	サロン実施主体 (n=41)	NPO法人 (n=20)
増える傾向にある	9.5	12.7	14.6	30.0
減る傾向にある	0.0	25.4	22.0	10.0
あまり変わらない	81.0	58.7	51.2	55.0
その他	4.8	1.6	9.8	0.0
無回答	4.8	1.6	2.4	5.0
全体	100.0	100.0	100.0	100.0

問6 貴団体は、主にどのエリアで活動していますか。

【地区民児協】は各々「市内の一部の地区」が活動のエリアとして定められています。  
【サロン実施主体】も8割近くが「市内の一部の地区」で地域に密着して活動しています。  
【ボランティア団体】と【NPO法人】は「鈴鹿市内全域」が最も多いですが、「市内の一部の地区」や「市域を越えたエリア」などで活動している団体もあります。

	地区民児協 (n=21)	ボランティア団体 (n=63)	サロン実施主体 (n=41)	NPO法人 (n=20)
鈴鹿市全域	0.0	49.2	4.9	45.0
市内の一部の地区	100.0	30.2	78.0	30.0
市域を越えたエリア	0.0	17.5	12.2	20.0
その他	0.0	1.6	0.0	0.0
無回答	0.0	1.6	4.9	5.0
全体	100.0	100.0	100.0	100.0

問6-②「市内の一部の地区」は、主にどの地区ですか。(複数回答)

	地区民児協 (n=21)	ボランティア団体 (n=63)	サロン実施主体 (n=41)	NPO法人 (n=20)
国府地区	4.8	3.2	7.3	5.0
庄野地区	4.8	0.0	0.0	0.0
加佐登地区	4.8	1.6	4.9	5.0
牧田地区	4.8	7.9	2.4	0.0
石薬師地区	4.8	6.3	0.0	10.0
白子地区	9.5	11.1	9.8	15.0
稲生地区	4.8	0.0	12.2	0.0
飯野地区	4.8	3.2	2.4	0.0
河曲地区	9.5	1.6	9.8	5.0
一ノ宮地区	4.8	1.6	0.0	0.0
箕田地区	4.8	3.2	2.4	0.0
玉垣地区	4.8	4.8	9.8	0.0
若松地区	4.8	1.6	2.4	0.0
神戸地区	4.8	7.9	0.0	0.0
栄地区	4.8	1.6	9.8	0.0
天名地区	4.8	0.0	2.4	0.0
合川地区	9.5	0.0	2.4	5.0
井田川地区	4.8	0.0	0.0	0.0
久間田地区	9.5	1.6	0.0	5.0
椿地区	9.5	0.0	0.0	0.0
深伊沢地区	9.5	0.0	0.0	5.0
鈴峰地区	4.8	0.0	0.0	5.0
庄内地区	4.8	0.0	0.0	5.0
無回答	0.0	69.8	22.0	70.0
全体	100.0	100.0	100.0	100.0

問7 貴団体は、主にどのような場所で活動していますか。(複数回答)

【地区民児協】は「公民館」、「地区市民センター」を多くがあげ、「学校」がこれに次いでいます。【サロン実施主体】は「地域の会館や集会所」が最も多く、次いで「その他の公共施設」です。【ボランティア団体】と【NPO法人】は「福祉施設」が最も多く、【ボランティア団体】は「地域の会館や集会所」、「その他の公共施設」、「公民館」も比較的多くあげられていますが、【NPO法人】は「福祉施設」以外をあげた団体はあまり多くありません。

	地区民児協 (n=21)	ボランティア団体 (n=63)	サロン実施主体 (n=41)	NPO法人 (n=20)
地域の会館や集会所	42.9	28.6	61.0	15.0
学校	52.4	15.9	2.4	5.0
公民館	76.2	25.4	14.6	0.0
地区市民センター	76.2	9.5	2.4	0.0
その他の公共施設	14.3	27.0	17.1	10.0
福祉施設	14.3	58.7	9.8	55.0
団体の事務所	0.0	6.3	0.0	10.0
メンバーの自宅	0.0	4.8	12.2	5.0
活動の対象者の自宅	14.3	3.2	2.4	10.0
その他	0.0	9.5	7.3	10.0
無回答	0.0	1.6	2.4	5.0
全体	100.0	100.0	100.0	100.0

問8 貴団体は、活動や運営に必要な資金をどのように得ていますか。(複数回答)

【地区民児協】は「行政の補助金」と「社協の補助金」を多くがあげています。【サロン実施主体】と【ボランティア団体】は「社協の補助金」と「会費」をあげた団体が多くなっています。一方、【NPO法人】は「事業収入」をあげた団体が最も多く、次いで「行政の補助金」、「会費」となっています。

行政と社協の補助金に焦点をあててみると、【地区民児協】は「行政・社協の補助金とも有」、【サロン実施主体】と【ボランティア団体】は「社協の補助金のみの有」の団体の割合が大きいです。【ボランティア団体】は約4分の1が「いずれも無」です。また、【NPO法人】は「行政の補助金のみの有」と「いずれも無」がほぼ半々です。

	地区民児協 (n=21)	ボランティア団体 (n=63)	サロン実施主体 (n=41)	NPO法人 (n=20)	
会費	42.9	61.9	65.9	40.0	
行政の補助金	81.0	12.7	4.9	50.0	
社会福祉協議会の補助金	81.0	65.1	90.2	0.0	
民間の助成金	4.8	6.3	4.9	10.0	
カンパ・寄附金	4.8	14.3	7.3	15.0	
事業収入	0.0	7.9	2.4	65.0	
その他	14.3	14.3	14.6	10.0	
無回答	0.0	1.6	2.4	5.0	
行政・社協の補助金	行政の補助金のみの有	19.0	7.9	2.4	50.0
	社協の補助金のみの有	19.0	60.3	87.8	0.0
	行政・社協の補助金とも有	61.9	4.8	2.4	0.0
	いずれも無	0.0	25.4	4.9	45.0
	無回答	0.0	1.6	2.4	5.0
全体	100.0	100.0	100.0	100.0	

問9 貴団体は、活動を行ううえで、現在協働していたり、今後、新たに協働したいと思う団体や機関等がありますか。(複数回答)

現在の状況として、【地区民児協】は「社協」、「地域組織」、「学校や教育関係の団体」、「市などの行政機関」を8割程度があげるなど、多様な連携が行われています。また、【ボランティア団体】は「社協」と他の「ボランティア団体」、【サロン実施主体】は「地域組織」と「社協」を比較的多くの団体があげています。【NPO法人】は「市などの行政機関」、「福祉の専門機関や事業所」、「社協」、他の「NPO法人」を比較的多くあげています。

今後の希望としては、「当事者組織」が、【地区民児協】、【ボランティア団体】、【NPO法人】で比較的多くの団体があげています。また、【サロン実施主体】は「ボランティア団体」を最も多くの団体があげています。

	地区民児協 (n=21)		ボランティア団体 (n=63)		サロン実施主体 (n=41)		NPO法人 (n=20)	
	現在協働 している	今後協働 したい	現在協働 している	今後協働 したい	現在協働 している	今後協働 したい	現在協働 している	今後協働 したい
地域組織	81.0	19.0	12.7	9.5	43.9	14.6	35.0	10.0
ボランティア団体	38.1	9.5	36.5	6.3	9.8	17.1	20.0	15.0
NPO法人	0.0	9.5	7.9	1.6	2.4	0.0	40.0	5.0
当事者組織	9.5	14.3	9.5	11.1	4.9	4.9	15.0	30.0
福祉の専門機関や事業者	61.9	9.5	11.1	1.6	12.2	12.2	60.0	20.0
その他の事業者や企業	0.0	9.5	0.0	1.6	0.0	2.4	35.0	15.0
学校や教育関係の団体	76.2	9.5	14.3	9.5	12.2	12.2	30.0	10.0
市などの行政機関	76.2	9.5	20.6	6.3	24.4	2.4	65.0	5.0
社会福祉協議会	85.7	9.5	55.6	4.8	34.1	9.8	45.0	20.0
その他	14.3	4.8	3.2	4.8	0.0	2.4	0.0	0.0
無回答	4.8	42.9	17.5	76.2	17.1	56.1	15.0	60.0
全体	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

問10 貴団体では、活動や組織運営で困っていることがありますか。(複数回答)

選択肢としてあげたさまざまな問題のなかで、「活動メンバーが高齢化している」や「活動メンバーが不足している」は、いずれの団体種別でも多くの団体があげています。また、「活動資金や運営資金が不足している」も団体種別を通じてあげられており、特に困っていることとしてあげた団体の割合が大きいことが目立っています。

これら以外では、【地区民児協】では「現在行っている活動の負担が大きい」や「新たな活動に取り組むことが難しい」、「他の団体等との連携や調整が難しい」が多くあげられています。【サロン実施主体】では「活動の情報発信が十分できない」や「運営スタッフや役員が不足している」、「新たな活動にとりくむことが難しい」、【NPO法人】では「事務所が確保できない」や「運営スタッフや役員が不足している」、「機材や設備が確保できない」が比較的多くあげられています。

	地区民児協 (n=21)		ボランティア団体 (n=63)		サロン実施主体 (n=41)		NPO法人 (n=20)	
	困っていること	特に困っている	困っていること	特に困っている	困っていること	特に困っている	困っていること	特に困っている
活動メンバーが不足している	28.6	4.8	23.8	0.0	22.0	4.9	40.0	0.0
活動メンバーが高齢化している	66.7	0.0	34.9	9.5	46.3	4.9	30.0	0.0
運営スタッフや役員が不足している	9.5	4.8	11.1	1.6	19.5	4.9	25.0	5.0
事務所が確保できない	0.0	4.8	7.9	0.0	0.0	2.4	30.0	0.0
活動拠点が確保できない	4.8	0.0	6.3	0.0	4.9	2.4	15.0	0.0
機材や設備が確保できない	9.5	0.0	15.9	4.8	7.3	0.0	20.0	10.0
活動資金や運営資金が不足している	14.3	14.3	20.6	7.9	12.2	9.8	30.0	15.0
活動に関する情報が得にくい	4.8	0.0	4.8	0.0	4.9	2.4	10.0	0.0
活動のアドバイスや指導が得にくい	4.8	0.0	3.2	0.0	9.8	2.4	10.0	0.0
活動の情報発信が十分できない	9.5	0.0	11.1	0.0	22.0	2.4	20.0	0.0
他の団体等との連携や調整が難しい	28.6	4.8	6.3	0.0	4.9	2.4	10.0	0.0
現在行っている活動の負担が大きい	33.3	4.8	4.8	0.0	9.8	2.4	15.0	5.0
活動や運営がマンネリ化している	9.5	4.8	11.1	3.2	17.1	0.0	0.0	0.0
活動や運営が縮小傾向にある	0.0	0.0	12.7	0.0	17.1	0.0	5.0	0.0
新たな活動に取り組むことが難しい	23.8	9.5	9.5	0.0	19.5	4.9	15.0	0.0
その他	9.5	4.8	6.3	3.2	4.9	0.0	0.0	0.0
無回答	9.5	61.9	20.6	81.0	17.1	80.5	20.0	80.0
全体	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0



問11 貴団体では、活動の担い手を増やすために取り組んでいることや、今後取り組みたいと思うことがありますか。(複数回答)

現在取り組んでいることとして、【地区民児協】では「他の団体などと協力して活動する」や「団体や活動の情報発信を行う」が比較的多くあげられています。【サロン実施主体】は「ロコミなどで参加を呼びかける」とともに「気軽に参加できる活動をつくる」も多く取り組まれています。【NPO法人】は「他の団体などと協力して活動する」をはじめ、担い手を増やす取り組みに積極的に取り組む団体が多いようです。【ボランティア団体】では「ロコミなどで参加を呼びかける」が最も多いですが、他の団体種別と比較すると、担い手を増やす取り組みは少なめようです。

今後取り組みたいこととしては、【地区民児協】は「団体や活動の情報発信を行う」、【ボランティア団体】は「気軽に参加できる活動をつくる」、【サロン実施主体】と【NPO法人】は「活動のリーダーを養成する」を最も多くの団体があげています。

	地区民児協 (n=21)		ボランティア団体 (n=63)		サロン実施主体 (n=41)		NPO法人 (n=20)	
	現在取り組んでいる	今後取り組みたい	現在取り組んでいる	今後取り組みたい	現在取り組んでいる	今後取り組みたい	現在取り組んでいる	今後取り組みたい
団体や活動の情報発信を行う	28.6	19.0	19.0	7.9	36.6	12.2	45.0	15.0
ロコミなどで参加を呼びかける	19.0	0.0	30.2	7.9	58.5	2.4	45.0	15.0
講座などを行う	9.5	9.5	9.5	6.3	9.8	9.8	45.0	10.0
気軽に参加できる活動をつくる	19.0	14.3	20.6	11.1	43.9	12.2	45.0	10.0
他の団体などと協力して活動する	38.1	14.3	17.5	6.3	9.8	12.2	45.0	30.0
活動のリーダーを養成する	23.8	4.8	7.9	9.5	4.9	14.6	15.0	35.0
その他	4.8	0.0	0.0	0.0	2.4	0.0	0.0	0.0
無回答	38.1	52.4	38.1	68.3	17.1	58.5	15.0	35.0
全体	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

問12 貴団体では、活動した人に一定の報酬や謝礼などを支払う「有償活動」を行っていますか。また、今後はどのようにお考えですか。

【NPO法人】は「多くの活動を有償で行っている」が2割で、「一部の活動を有償で行っている」をあわせると7割以上です。また、【地区民児協】の約半数、【サロン実施主体】の約4分の1も「一部の活動を有償で行っている」と回答しています。【ボランティア団体】は有償の活動を行っている団体は多くありませんが、約4分の1は「有償の活動は必要だと思う」と答えています。一方、「有償の活動を行うべきではない」と答えた団体も、【地区民児協】や【サロン実施主体】で2割弱であるなど、いずれの団体種別でも一定の割合となっています。

	地区民児協 (n=21)		ボランティア団体 (n=63)		サロン実施主体 (n=41)		NPO法人 (n=20)	
	現在取り組んでいる	今後取り組みたい	現在取り組んでいる	今後取り組みたい	現在取り組んでいる	今後取り組みたい	現在取り組んでいる	今後取り組みたい
多くの活動を有償で行っている	0.0	1.6	0.0	20.0	0.0	20.0	0.0	20.0
一部の活動を有償で行っている	47.6	9.5	24.4	55.0	47.6	55.0	47.6	55.0
今後は行いたい	4.8	11.1	4.9	5.0	4.8	5.0	4.8	5.0
有償の活動は必要だと思う	9.5	23.8	26.8	0.0	9.5	0.0	9.5	0.0
有償で行うべきではないと思う	19.0	12.7	17.1	10.0	19.0	10.0	19.0	10.0
その他	9.5	25.4	14.6	5.0	9.5	5.0	9.5	5.0
無回答	9.5	15.9	12.2	5.0	9.5	5.0	9.5	5.0
全体	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

問13 活動や組織運営を充実するための支援として、市などの公的な機関にはどのようなことを行ってほしいと思いますか。

回答方法がわかりにくく、複数回答をされた団体が多くありましたが、優先度を把握するため除いて集計しました。

希望の優先度が最も高い支援としては、【地区民児協】、【ボランティア団体】、【サロン実施主体】は「補助金を充実する」が最も多くあげられています。また、【NPO法人】では「広報や情報提供を充実する」を最も多くがあげており、この支援は【ボランティア団体】でも比較的多くがあげています。

1番目～3番目の希望を合計してみると、上記以外の項目として【地区民児協】では「養成やスキルアップ研修を充実する」、【ボランティア団体】、【サロン実施主体】、【NPO法人】では「活動拠点、機材などを充実する」が多くあげられています。

	地区民児協 (n=21)				ボランティア団体 (n=63)			
	1番目	2番目	3番目	(合計)	1番目	2番目	3番目	(合計)
広報や情報提供を充実する	9.5	4.8	4.8	19.1	20.6	3.2	11.1	34.9
補助金を充実する	33.3	9.5	14.3	57.1	23.8	9.5	1.6	34.9
活動拠点、機材などを充実する	0.0	9.5	4.8	14.3	11.1	15.9	7.9	34.9
相談や調整などを充実する	9.5	14.3	9.5	33.3	3.2	6.3	9.5	19.0
養成やスキルアップ研修を充実する	14.3	14.3	14.3	42.9	3.2	9.5	4.8	17.5
団体・地域・市民の交流を充実する	14.3	9.5	9.5	33.3	1.6	9.5	11.1	22.2
その他	0.0	0.0	4.8	4.8	1.6	0.0	0.0	1.6
無回答	19.0	38.1	38.1	-	34.9	46.0	54.0	-
全体	100.0	100.0	100.0	-	100.0	100.0	100.0	-

	サロン実施主体 (n=41)				NPO法人 (n=20)			
	1番目	2番目	3番目	(合計)	1番目	2番目	3番目	(合計)
広報や情報提供を充実する	7.3	4.9	9.8	22.0	20.0	0.0	25.0	45.0
補助金を充実する	26.8	9.8	7.3	43.9	15.0	15.0	20.0	50.0
活動拠点、機材などを充実する	7.3	12.2	7.3	26.8	10.0	15.0	0.0	25.0
相談や調整などを充実する	7.3	2.4	7.3	17.0	10.0	10.0	0.0	20.0
養成やスキルアップ研修を充実する	4.9	4.9	2.4	12.2	5.0	5.0	5.0	15.0
団体・地域・市民の交流を充実する	2.4	14.6	7.3	24.3	0.0	15.0	0.0	15.0
その他	7.3	0.0	2.4	9.7	5.0	0.0	0.0	5.0
無回答	36.6	51.2	56.1	-	35.0	40.0	50.0	-
全体	100.0	100.0	100.0	-	100.0	100.0	100.0	-

## 2. 活動を通じて感じている地域福祉の状況や課題について

問14 貴団体が活動しているエリアの状況について、どのように感じていますか。

### ○住民のつながりや支えあいの状況について

【住民どうしのつながりが強い】かどうかについて、【地区民児協】は「そう思う」、【サロン実施主体】は「ややそう思う」と答えた団体が多いなど、同意的な回答が多くなっています。一方、【ボランティア団体】と【NPO法人】では「どちらともいえない」と答えた団体の割合が大きめです。

【住民の支えあいができている】かどうかについても、【地区民児協】と【サロン実施主体】は「ややそう思う」と答えた団体が多いですが、【住民どうしのつながり】よりは同意の度合いは弱くなっています。また、【ボランティア団体】と【NPO法人】は「どちらともいえない」と答えたところの割合が大きめです。

	住民どうしのつながりが強い				住民の支えあいができている			
	地区民児協 (n=21)	ボランティア団体 (n=63)	サロン実施団体 (n=41)	NPO法人 (n=20)	地区民児協 (n=21)	ボランティア団体 (n=63)	サロン実施団体 (n=41)	NPO法人 (n=20)
そう思う	28.6	7.9	17.1	20.0	4.8	3.2	4.9	10.0
ややそう思う	19.0	17.5	24.4	10.0	38.1	19.0	24.4	15.0
どちらともいえない	23.8	19.0	12.2	25.0	28.6	23.8	19.5	30.0
あまりそう思わない	4.8	14.3	19.5	15.0	9.5	12.7	19.5	15.0
そう思わない	14.3	7.9	9.8	5.0	9.5	3.2	12.2	5.0
わからない	0.0	6.3	2.4	15.0	0.0	7.9	7.3	15.0
無回答	9.5	27.0	14.6	10.0	9.5	30.2	12.2	10.0
全体	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

### ○活動への関心や参加の状況について

【活動への住民が高い】かどうかについては、いずれの団体種別も「どちらともいえない」と答えた団体が多いですが、【サロン実施主体】では「そう思わない」と答えた団体の割合が大きいことが目立っています。

【多くが活動に参加している】かどうかについては、【地区民児協】では「ややそう思う」を含めて4割以上が同意的な回答をしています。他の団体種別では「どちらともいえない」と答えた団体が最も多いですが、【NPO法人】では「そう思う」と答えた法人の割合も大きめです。

	活動への住民の関心が高い				多くが活動に参加している			
	地区民児協 (n=21)	ボランティア団体 (n=63)	サロン実施団体 (n=41)	NPO法人 (n=20)	地区民児協 (n=21)	ボランティア団体 (n=63)	サロン実施団体 (n=41)	NPO法人 (n=20)
そう思う	0.0	4.8	4.9	10.0	9.5	0.0	4.9	15.0
ややそう思う	28.6	9.5	24.4	15.0	33.3	14.3	17.1	5.0
どちらともいえない	38.1	30.2	26.8	25.0	14.3	23.8	22.0	35.0
あまりそう思わない	14.3	15.9	4.9	20.0	14.3	19.0	19.5	15.0
そう思わない	9.5	6.3	22.0	5.0	14.3	11.1	17.1	5.0
わからない	0.0	7.9	4.9	15.0	0.0	4.8	7.3	15.0
無回答	9.5	25.4	12.2	10.0	14.3	27.0	12.2	10.0
全体	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

○団体の連携の状況について

【団体の連携がすすんでいる】かどうかについては、【地区民児協】と【NPO法人】で「ややそう思う」の割合が大きいです。一方、【サロン実施主体】では「そう思わない」と答えた団体の割合が大きくなっています。

○福祉ニーズ等の状況について

【少子高齢化がすすんでいる】かどうかについては、各団体種別とも半数近くが「そう思う」と答えるなど、6～7割が同意的な回答をしていますが、反対的な回答をした団体もあり、地域によって差があることがうかがえます。

【生活が苦しい人が増えた】かどうかについては、いずれの団体種別でも同意的な回答をした団体が反対的な回答をした団体よりも多く、特に【NPO法人】では半数近くが「そう思う」または「ややそう思う」と答えています。

【地域から孤立した人が増えた】かどうかについては、【サロン実施主体】と【NPO法人】では半数近くが同意的な回答をしています。

	団体の連携がすすんでいる				少子高齢化がすすんでいる			
	地区民児協 (n=21)	ボランティア団体 (n=63)	サロン実施団体 (n=41)	NPO法人 (n=20)	地区民児協 (n=21)	ボランティア団体 (n=63)	サロン実施団体 (n=41)	NPO法人 (n=20)
そう思う	9.5	3.2	7.3	10.0	57.1	49.2	51.2	40.0
ややそう思う	28.6	12.7	9.8	25.0	19.0	15.9	17.1	25.0
どちらともいえない	19.0	19.0	19.5	15.0	4.8	1.6	4.9	5.0
あまりそう思わない	23.8	19.0	14.6	10.0	4.8	0.0	4.9	10.0
そう思わない	4.8	9.5	26.8	10.0	0.0	0.0	4.9	0.0
わからない	0.0	7.9	9.8	15.0	0.0	4.8	4.9	10.0
無回答	14.3	28.6	12.2	15.0	14.3	28.6	12.2	10.0
全体	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

	生活が苦しい人が増えた				地域から孤立した人が増えた			
	地区民児協 (n=21)	ボランティア団体 (n=63)	サロン実施団体 (n=41)	NPO法人 (n=20)	地区民児協 (n=21)	ボランティア団体 (n=63)	サロン実施団体 (n=41)	NPO法人 (n=20)
そう思う	4.8	9.5	9.8	15.0	4.8	9.5	9.8	5.0
ややそう思う	28.6	20.6	14.6	30.0	19.0	20.6	34.1	40.0
どちらともいえない	33.3	20.6	29.3	30.0	47.6	25.4	22.0	20.0
あまりそう思わない	4.8	1.6	14.6	0.0	14.3	4.8	9.8	5.0
そう思わない	0.0	1.6	2.4	5.0	0.0	1.6	4.9	5.0
わからない	19.0	17.5	17.1	10.0	4.8	11.1	9.8	15.0
無回答	9.5	28.6	12.2	10.0	9.5	27.0	9.8	10.0
全体	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

## ○福祉の相談窓口やサービスの充実について

【福祉の相談窓口が充実した】かどうかについては、【地区民児協】では「ややそう思う」などの同意的な回答をした団体の割合が大きめですが、その他の団体種別では「あまりそう思わない」などの反対的な回答の方が多くなっています。

【施設やサービスが充実した】かどうかについては、【NPO法人】は4割、【地区民児協】でも3割弱が同意的な回答をしていますが、【ボランティア団体】と【サロン実施主体】は反対的な回答をした団体の方が多くなっています。

	福祉の相談窓口が充実した				施設やサービスが充実した			
	地区民児協 (n=21)	ボランティア団体 (n=63)	サロン実施団体 (n=41)	NPO法人 (n=20)	地区民児協 (n=21)	ボランティア団体 (n=63)	サロン実施団体 (n=41)	NPO法人 (n=20)
そう思う	9.5	1.6	2.4	5.0	0.0	6.3	4.9	5.0
ややそう思う	28.6	15.9	14.6	10.0	28.6	15.9	17.1	35.0
どちらともいえない	33.3	17.5	24.4	35.0	47.6	15.9	22.0	35.0
あまりそう思わない	19.0	19.0	26.8	15.0	4.8	22.2	22.0	5.0
そう思わない	0.0	3.2	7.3	15.0	4.8	4.8	17.1	10.0
わからない	0.0	12.7	9.8	15.0	4.8	9.5	4.9	5.0
無回答	9.5	30.2	14.6	5.0	9.5	25.4	12.2	5.0
全体	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

問15 貴団体では、次のような人への相談や支援を行っていますか。また、相談や支援を行うなかで困難を感じているものがありますか。

【地区民児協】は地域に密着した相談や支援の活動を担っており、（「就労や社会参加ができない」人への対応は少なめですが）さまざまな課題をもつ人への相談や支援を行っています。また、【NPO法人】も（「地域から孤立している」人への対応は少なめですが）さまざまな課題をもつ人の相談や支援を行っています。【サロン実施主体】は「子育ての支援がない」人や「日常の困りごとの支援がない」人への相談や支援を、比較的多くの団体が行っています。

「相談・支援で困難を感じている」こととして、【地区民児協】は「支援を拒否する」人と「経済的に困窮している」人を特に多くの団体が多くあげています。また、【NPO法人】では「経済的に困窮している」人や「虐待や権利侵害に遭っている」人をあげた団体の割合が大きめです。

	介護などが受けられない				子育ての支援がない			
	地区 民児協 (n=21)	ボランテ ィア団体 (n=63)	サロン 実施団体 (n=41)	NPO 法人 (n=20)	地区 民児協 (n=21)	ボランテ ィア団体 (n=63)	サロン 実施団体 (n=41)	NPO 法人 (n=20)
相談や支援を行っている	52.4	3.2	9.8	35.0	47.6	6.3	17.1	20.0
相談・支援で困難を感じている	23.8	3.2	0.0	20.0	19.0	1.6	2.4	15.0
相談や支援は行っていない	14.3	20.6	26.8	20.0	23.8	15.9	19.5	25.0
接していない	0.0	36.5	26.8	5.0	0.0	41.3	29.3	30.0
無回答	9.5	36.5	36.6	20.0	9.5	34.9	31.7	10.0
全体	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

	経済的に困窮している				就労や社会参加ができない			
	地区 民児協 (n=21)	ボランテ ィア団体 (n=63)	サロン 実施団体 (n=41)	NPO 法人 (n=20)	地区 民児協 (n=21)	ボランテ ィア団体 (n=63)	サロン 実施団体 (n=41)	NPO 法人 (n=20)
相談や支援を行っている	23.8	3.2	0.0	5.0	9.5	3.2	0.0	25.0
相談・支援で困難を感じている	38.1	0.0	2.4	25.0	9.5	4.8	7.3	15.0
相談や支援は行っていない	33.3	17.5	24.4	30.0	57.1	17.5	29.3	40.0
接していない	0.0	42.9	36.6	25.0	9.5	39.7	31.7	15.0
無回答	4.8	36.5	36.6	15.0	14.3	34.9	31.7	5.0
全体	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

	地域から孤立している				虐待や権利侵害に遭っている			
	地区 民児協 (n=21)	ボランテ ィア団体 (n=63)	サロン 実施団体 (n=41)	NPO 法人 (n=20)	地区 民児協 (n=21)	ボランテ ィア団体 (n=63)	サロン 実施団体 (n=41)	NPO 法人 (n=20)
相談や支援を行っている	28.6	3.2	4.9	5.0	23.8	0.0	0.0	15.0
相談・支援で困難を感じている	19.0	3.2	4.9	15.0	38.1	6.3	2.4	25.0
相談や支援は行っていない	33.3	14.3	17.1	40.0	14.3	14.3	19.5	30.0
接していない	9.5	44.4	43.9	25.0	19.0	44.4	43.9	20.0
無回答	9.5	34.9	29.3	15.0	4.8	34.9	34.1	10.0
全体	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

	日常の困りごとの支援がない				支援を拒否する			
	地区 民児協 (n=21)	ボランテ ィア団体 (n=63)	サロン 実施団体 (n=41)	NPO 法人 (n=20)	地区 民児協 (n=21)	ボランテ ィア団体 (n=63)	サロン 実施団体 (n=41)	NPO 法人 (n=20)
相談や支援を行っている	52.4	4.8	17.1	30.0	14.3	0.0	2.4	10.0
相談・支援で困難を感じている	19.0	6.3	4.9	15.0	42.9	1.6	2.4	15.0
相談や支援は行っていない	14.3	17.5	17.1	25.0	33.3	17.5	9.8	25.0
接していない	4.8	36.5	31.7	15.0	4.8	46.0	51.2	35.0
無回答	9.5	34.9	29.3	15.0	4.8	34.9	34.1	15.0
全体	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

問16 地域の福祉を充実するために、行政などの「公」、地域や民間の団体・事業者などはどのようなことに特に優先的に取り組むべきだと思いますか。(複数回答・7つまで)

### ○公が取り組むこと

優先度についての意見をお聞きするため、7つまでの回答を求めました（7つ以上回答された団体が一部ありましたが、含めて集計しています）。

各団体種別で共通して多くあげられた項目は「福祉に関する相談窓口の充実」と「介護や生活支援サービスの充実」で、「年金などの社会保障制度の充実」も【ボランティア団体以外】で多くの団体があげています。また、【地区民児協】では「困窮している人への支援の充実」が第2位で、【NPO法人】と【ボランティア団体】では「活動への支援の充実」が多くあげられています。

### ○地域や民間が取り組むこと

「住民どうしのつながりの強化」、「困りごとを支えあう活動の充実」、「要支援者を発見する取り組みの充実」、「災害時の支えあいや防災の充実」が、各団体種別に共通して多くあげられています。

	地区民児協 (n=21)		ボランティア団体 (n=63)		サロン実施主体 (n=41)		NPO法人 (n=20)	
	公が取り組むこと	地域や民間が取り組むこと	公が取り組むこと	地域や民間が取り組むこと	公が取り組むこと	地域や民間が取り組むこと	公が取り組むこと	地域や民間が取り組むこと
住民どうしのつながりの強化	14.3	71.4	9.5	68.3	4.9	80.5	15.0	75.0
困りごとを支えあう活動の充実	19.0	61.9	7.9	60.3	4.9	65.9	10.0	60.0
活動への支援の充実	28.6	4.8	52.4	7.9	39.0	12.2	60.0	5.0
団体・機関ネットワークの充実	33.3	14.3	28.6	11.1	24.4	2.4	40.0	20.0
福祉に関する相談窓口の充実	76.2	4.8	55.6	3.2	61.0	2.4	55.0	15.0
介護や生活支援サービスの充実	57.1	33.3	52.4	12.7	56.1	17.1	70.0	25.0
子育てや健全育成の支援の充実	33.3	33.3	44.4	28.6	36.6	26.8	45.0	25.0
虐待防止や権利擁護の充実	38.1	23.8	28.6	15.9	31.7	17.1	35.0	25.0
困窮している人への支援の充実	66.7	0.0	39.7	3.2	43.9	2.4	45.0	0.0
就労のための支援の充実	23.8	9.5	36.5	7.9	34.1	9.8	50.0	10.0
年金などの社会保障制度の充実	61.9	0.0	28.6	1.6	53.7	0.0	55.0	0.0
健康づくりや医療の充実	14.3	23.8	39.7	14.3	41.5	7.3	40.0	20.0
孤立した人への支援の充実	23.8	38.1	22.2	27.0	14.6	34.1	30.0	45.0
要支援者を発見する取り組みの充実	14.3	57.1	11.1	58.7	4.9	65.9	30.0	50.0
福祉の理解やの心を育てる取り組み	19.0	28.6	14.3	25.4	17.1	22.0	30.0	40.0
バリアフリーの環境づくり	23.8	9.5	28.6	6.3	34.1	9.8	35.0	10.0
生活の利便性の向上	28.6	23.8	20.6	19.0	24.4	22.0	25.0	20.0
住宅の確保や住環境の充実	14.3	9.5	14.3	7.9	14.6	0.0	30.0	5.0
災害時の支えあいや防災の充実	23.8	76.2	22.2	47.6	17.1	58.5	35.0	50.0
犯罪や事故からの安全なまちづくり	33.3	38.1	27.0	36.5	26.8	51.2	45.0	30.0
無回答	0.0	0.0	9.5	14.3	9.8	9.8	0.0	5.0
全体	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

問17 鈴鹿市の地域福祉に関するご意見などがありましたら、自由にお書きください。

○福祉のニーズや施策について

\*超高齢化社会への対応をすすめる。

- ・超高齢化がすすむなかで難しい諸問題が発生してくるので、官民一体となって行動するよう、市のますますの活躍を期待する。

\*障がいのある人への支援をすすめる。

- ・障害者の自立とは何かを市として考え、生活支援だけでなく就労をすすめるよう、民間企業とも連携して取り組んでほしい。
- ・障害者が安心して暮らせる鈴鹿市になれば、障害のある子どもや保護者も安心して暮らせる第一歩になる。

\*子どもへの支援を充実する。

- ・親の病気や養育力の低さのため朝食を食べずに登校する子どももいるので、行政の支援があれば食事を提供する活動などがしたい。

\*生活困窮者への支援をすすめる。

- ・生活困難者などが地域で取り残されないような取り組みを充実してほしい。

\*ネットワークを充実する。

- ・形式的ではなく心を込めた公民協働の精神でネットワークを構築したい。
- ・事業を立ち上げることを重視するより、関係機関が協力して子どもの命を守るための危機管理と迅速な対応、人材養成などができるネットワークが必要である。

\*公民の協働を充実する。

- ・もっと行政と民間が協力しあえるしくみをつくってほしい。
- ・現代の社会環境のなかでは「福祉の押しつけ」ではなく、個人、団体、行政がそれぞれの立ち位置で役割と責任を果たすことが大事である。
- ・何のために活動するのかを考え、企業、行政、民間ができることをして同じ立場で協働して、本当に市民が必要としていることをすることが大切だと思う。
- ・公と自治会が一体になって地域問題に対処する必要があるが、すべてボランティアでは無理であり、体制、権力、財力がないとすすまない。
- ・市の「まちづくり基本条例」に基づく取り組みがすすむよう、自治会単位での説明や話しあいをしてほしい。

○福祉や子育てに関する相談について

\*地域の相談窓口を明確にする。

- ・地域住民の相談窓口がはっきりしていない。

\*地域包括支援センターを充実する。

- ・地域包括支援センターが要援護者等の相談や手続きをしてくれるが、スタッフが少なく非常に忙しそうなので増員してほしい

○地域福祉などの活動について

\*さまざまな活動を行っている。

- ・孤独死が連続したことから100円モーニングを実施し、孤立を防いでいる。
- ・困ってからではなく早いうちに友人をつくり、健康に気をつけるよう活動している。
- ・宅老所を開設したかったが、場所やスタッフの関係で半日のサロンを行っている。
- ・市が実施していた当事者活動の事業が制度改正でなくなったため、自分たちで立ち上げて活動している。
- ・人数が少ないので大変だが施設等から要請があったときには断らずに訪問しており、このまま継続していきたい。



**\*子どもを支援する活動を充実する。**

- ・地域福祉の活動は民生委員が本当に頑張ってくれているので高齢者に対する活動は維持していけばよいが、子どもへの支援にももっと目を向けてほしい。

**\*身近な地域での活動を充実する。**

- ・子育てや高齢者を支援する活動は身近な地区単位で充実する必要がある、活動を通じて日常の交流やたすけあいが広がることも実感している。
- ・市域が広いので中学校区単位の対応が必要であり、地区社協が住民福祉の中核となるよう企画、財政、情報提供などで支援して活性化してほしい。
- ・各地区の福祉予算の割り振りの一部を、地区の福祉活動の実態を把握している社協を通じて行ってはどうか。
- ・自治会や民生委員の活動が狭まっているので、地区ごとに福祉委員をつくり、場所づくりやボランティアの育成などを考えてはどうか。
- ・自治会の福祉の取り組みがなくサロン活動にも否定的なので、地区のサークル活動を支援してほしい。
- ・個人でサロン活動をしていると嫌がらせなどがあるので、自治会が先頭に立って取り組むよう公が指導してほしい。

**\*活動への支援を充実する。**

- ・住民が自ら考えて行動することが基本だが、公的な機関が支えることが大切である。

**\*専門的な助言や支援を充実する。**

- ・ひとり暮らしの高齢者にお弁当を安く提供する活動をしたいと考えてもいろいろな規制で難しいので、アドバイスをしてもらえるとよい。
- ・社協職員の地域への目配りが参考になる。

**\*活動財源を確保するための支援を充実する。**

- ・子育て支援の活動に対する市の支援策がなかったので社協の支援を受けているが、財源が厳しく世話役の持ち出しや寄付でやり繰りする状況であり、資金を含めた市の支援を切望する。
- ・誰もが集まれる場をつくるために古い民家を確保したがリフォームの資金が不足して困っているので、助成するしくみがあると助かる。
- ・社協の助成金は地区の戸数に応じて支給され、人口が少なく高齢化がすすんだ地区への助成が少ないため、高齢者数を勘案して配分するなどの方策をとってほしい。
- ・一度も補助金を受けたことがなく、持ち出しでは続かないし会員の力も上がらない。
- ・金銭に余裕はないが、草の根の活動をしている人はたくさんいる。

**\*活動の拠点を充実する。**

- ・認知症の高齢者を増やさないために外に出る場をつくるよう、人材の養成とともに、空き家を活用した場所の確保が必要である。
- ・鈴鹿市は公民館が整備されているので、利用目的に地域福祉も追加してはどうか。
- ・会員が自分らしい生活をめざして支えあったり出前で講演などを行っているが、活動の成果を発表する場が窮屈なのでゆったりした場があるとよい。

**○福祉サービスの担い手について**

**\*福祉サービスの担い手を増やす。**

- ・高齢者施設を訪問して活動しているが、入所者に付き添ったり声かけをする職員が少なくなっているのが気になる。

**\*地域の担い手と増やす。**

- ・地域の人材を集めるために、行政の力を借りたい。

## ○近所づきあいやコミュニティについて

### \*地域のつながりを充実する。

- ・民生委員や老人会の見守り・声かけ活動等で住みよい地域環境づくりがすすんでおり、いじめや詐欺などを未然に防ぐ地域のつながりができるとよい。

### \*集まれる場を充実する。

- ・高齢者や子育て中の親子が集まる場を、空き家を活用してたくさんつくるとよい。

### \*自治会の活動を充実する。

- ・地域の絆が薄れてきたので、これからは自治会で頑張りたい。
- ・向こう三軒両隣から始められるように一人ひとりが関心をもつとともに、自治会長が積極的に動くよう行政がまちづくりの見本を示してほしい。

## ○防災について

### \*災害時の支援体制を周知する。

- ・災害時の支援が適切にできるように、市内のどのボランティア団体が何を得意とするのかを市と社協が連携して把握し、公表してほしい。

## ○行政について

### \*市民の声を聴く。

- ・行政はもっと市民の困りごとに耳を傾けてほしい。

### \*庁内の連携を強化する。

- ・市の庁内の横のつながりがないと思う。
- ・行政の横のつながりがないことがもったいない。
- ・各々の担当課の役割は理解できるが、庁内各課の連携をうまく作用させて自治会と民児協の情報交換の機会を増やし、具体的な協議がしたい。

### \*公正・公平な行政を推進する。

- ・市民が公正・公平な行政を実感でき、子どもから高齢者までが生きがいをもてる福祉行政になってほしい。

## ○その他

- ・市の廃棄物対策課と協働で事業ができて感謝している。
- ・福祉サービスの支援を受けたことへの恩返しのつもりで、ボランティア活動を続けていきたい。
- ・この先、よい市になることを願っている。
- ・27年度版の地域福祉活動計画がほしい。

## ○団体アンケートについて

- ・回答に非常に苦勞を強いられた。